

地域で見守る 子育て! 子育て!

虐待って?!

児童虐待とは 親または親に代わる保護者が、子どもに対し次の行為をすることをいいます。

- 身体的虐待**…児童の身体に外傷が生じるような暴行を加えること。
(例) 殴る、蹴る、タバコの火やアイロンを押しつけるなど。
- 性的虐待**…児童にわいせつな行為をすること、させること。
(例) 子どもへの性的行為の強要、性器や性交を見せるなど。
- ネグレクト**…著しい減食、長時間の放置、保護者としての監視を怠ること。
(例) 衣食住の世話をせず放置したり、病気でも医者診察を拒否、家に閉じこめる、学校に行かせないなど。
- 心理的虐待**…児童に著しい心理的外傷を与える行動を行うこと。
(例) 児童に対する著しい暴言や拒絶的な対応、兄弟間で著しく差別するなどして、子どもの心に不安やおびえなどを引き起こす行為。

愛知県の現状

愛知県内(名古屋市を除く)の児童相談所における児童虐待相談対応件数は、平成23年度では1年間で1,499件ありました。前年度に比べて362件(+31.8%)と過去最多となっています。身体的虐待が776件(51.6%)で最も多く、次いでネグレクト454件(30.3%)、心理的虐待206件(13.7%)となっています。

なぜ虐待の相談は増えているの?

核家族化や地域のつながりが希薄になってきたことにより、子育てしにくい社会になってきたと言われていています。昔は、大家族の中で親戚や隣近所に助けをもらいながらみんなで子育てをしていましたが、現在は家庭での子育てが孤立しやすくなっている面があります。

また、悲惨な事件が報道されたり、制度改正や広報の強化などにより、国民の皆さんが児童虐待という社会問題に関心を持つことで、これまで気づかれなかった児童虐待が児童相談所につながるようになってきたと言われていています。

11月は「児童虐待防止推進月間」です。児童虐待の防止や早期発見には、地域の「みんなで見守る」体制が最も大切です。地域の子どもたちや、子育て中の家族を温かい目で見守りましょう。

地域で子どもたちを見守りましょう

問合せ先 いきいき広場内保健福祉グループ ☎52-9871



健康たかはま21



④ たばこ

たばこを吸うことによって、煙が直接接触する口やのど、肺の健康だけでなく、食道や胃、さらには妊婦さんのおなかの中の赤ちゃんにまで影響してしまうことが明らかになっています。

今後の取り組みとして、市民自らが取り組むこと(自分にできること)

★妊娠とニコチンの関係について知識を深めよう

たばこにはニコチンや一酸化炭素など、有害な物質が数多く含まれています。胎児と妊婦は胎盤でつながっており、妊婦の喫煙や妊婦の周囲の喫煙は胎児にも影響が出ます。喫煙している妊婦から生まれた赤ちゃんは、喫煙していない妊婦から生まれた赤ちゃんに比べて低出生体重児となる頻度が約2倍高くなっています。たばこの中のニコチンの作用により胎盤の血管が収縮し血流障害を起こしたり、一酸化炭素がヘモグロビンと結合して胎児への酸素供給量が少なくなり、胎児は十分に成長できません。妊娠中の喫煙は胎児の成長への影響だけでなく早産や流産などいろいろな異常を起こしやすくなります。

また、乳幼児突然死症候群の6割以上が、妊婦自身の喫煙や妊婦や赤ちゃんの周囲の喫煙と関係があります。妊婦自身や赤ちゃんをタバコの煙にさらさないことが、乳幼児突然死の予防にもつながるのです。



自分自身が禁煙しようと思ったら…

たばこを吸いたくなったときの対処法

- ① マスクをする(口をガードする)
- ② 規則正しい生活を心がける
- ③ 野菜を食べる(イライラを抑制する作用がある)
- ④ 歯を磨く(気分転換)
- ⑤ まわりに禁煙宣言をする(支援者をつくる)
- ⑥ 冷たい水や熱いお茶を飲む(気分転換、リラックス)
- ⑦ 刺激で気を紛らわす(急激なイライラを乗り切る)
- ⑧ たばこを吸う機会の多い場所には行かない(居酒屋、喫茶店など)
- ⑨ 禁煙のメリットを考える(貯金、ご飯がおいしく感じるなど)
- ⑩ 自分のリラックス方法を見つける(音楽、スポーツなど)